

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 362

■ 自動車工学関連講座（新人・若手社員向け Web セミナー） 第 4 回「製造現場の品質管理」（会員限定）

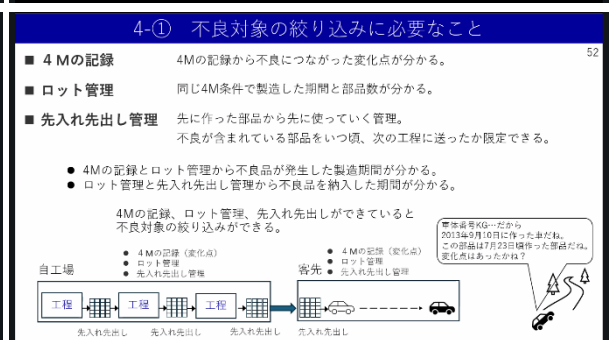
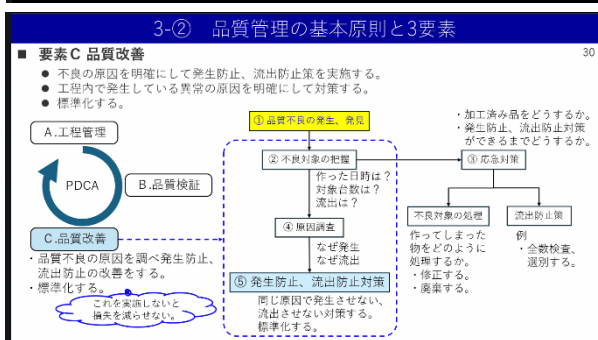
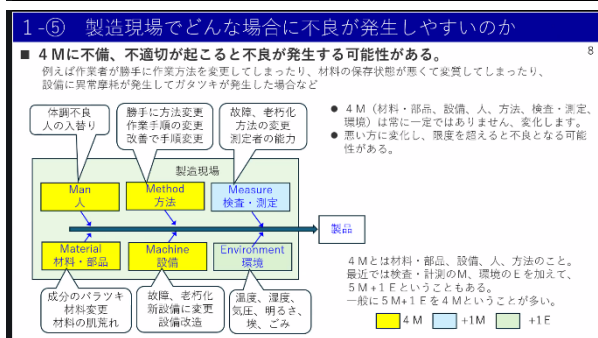
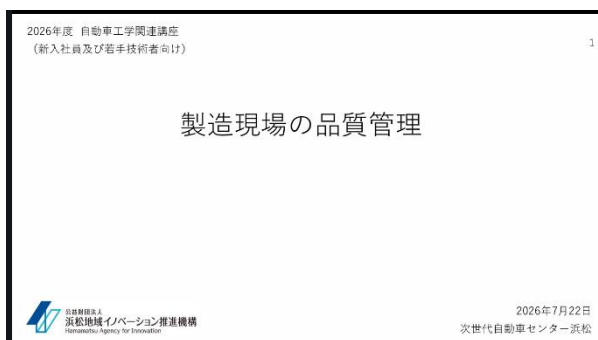
次世代自動車センター浜松では、昨年度に引き続き、会員企業の皆様のアンケートにお応えし、新人・若手社員の社内研修として会員企業の皆様のお役にたてるよう、新人・若手社員の皆様に必要な自動車部品の製造に関する基本的なスキルを身につけていただくため、自動車工学関連講座新人・若手社員向け Web セミナーとして、「自動車部品の製造工場における安全教育」、「製造現場での 5 S」、「自動車の構造と製造工程」、「製造現場の品質管理」の 4 回連続の講座を開催しています。

今回は、その第 4 回「製造現場の品質管理」として、当センターの松浦技術コーディネーターが講師となって、自動車関連部品の製造工程での品質管理方法の基礎知識について事例をまじえて解説する Web セミナーを開催しました。

■ 日 時： 2026 年 7 月 22 日（水）13 時 30 分～15 時

■ 場 所： Web 形式

■ 参加者： 44 社／175 名



【参加者の声】

- ・品質とは、顧客の期待をどれだけ満たしているかを示すものであること、そのため、お客様が何を求めているかによって良い品質というものは変わっていくということがとても参考になった。
- ・製造不良が発生しやすい3H（初めて、変更、久しぶり）は現在の職場でも当てはまるため、意識する対策の点などがよくわかり、とても参考になった。
- ・作業標準書どおりに作業することが不良を出さないことにつながるということがわかった。不良が出る原因が製造現場だけではなく設計、生産準備にもあることがわかった。
- ・品質管理には全員に役割があること、一般の作業者は与えられた役割を作業標準どおりに実施すること、異常を感じたら監督者に報告することが大切だと思った。
- ・設計担当者として、設定した品質の狙い値が最終的な品質に影響し、過去の品質問題や起こりうる問題を予測して設計することが品質改善に必要なだと認識できた。
- ・QC工程表での管理項目や工程能力管理が参考になった。
- ・TWI-JI 教え方の4段階法はこれまで実践してきたことがなく、このような考えに基づいた教育方法が有ることを知ることができてとても勉強になった。
- ・今までなんとなく掃除すればいい、整頓すればいいと思っていた5Sについて、職場の安全や仕事の効率化など目的をもってやることが大事だということが参考になった。
- ・品質管理の基礎となる5Sや品質管理についての考え方など基礎の部分がわかりとても参考になった。職場では4MやPDCAを駆使して品質管理をしていきたい。
- ・製造現場の品質管理で、5Sのポイントや基本原則と3要素のつながりについての考え方が参考になった。
- ・4Mを中心として、品質管理の目的の理解とそれを実現するための工程管理、品質検証、品質改善、そしてQC手法についての概要を学べた。
- ・以前、加工現場で作業を手伝ったことがあり、掲示やルールがあっても実際に続けて運用する難しさを感じたことがあった。今回の講義で、5Sや標準化、4M管理を日々の作業に結びつけることの大切さがよくわかった。
- ・特に「品質は上流の設計・生産準備工程で作り込むものであり、現場の努力だけに頼ってはいては限界がある」という点が非常に感銘した。作業者のスキルに依存しない作りやすい設計（ボカヨケの織り込みや部品の一体化等）の重要性を再認識できた。また、現場で実践されている「変化点管理板」による4M変化の見える化や、工程能力指数（Cp/Cpk）による客観的な品質能力の評価・全数検査の判断基準など、開発側としても熟知しておくべき現場の管理手法が理解でき、大変有益だった。
- ・工程管理に必要な要素5M+1E、標準書に記載すべきポイントが参考になった。
- ・工程ごとに品質確保の注意点が載っており、わかりやすかった。現場で作られる標準書類がどういうポイントを押さえて書き込まれているかわかりやすかった。
- ・不良を防ぐための考え方、現場任せにせず上流の設計工程、生産準備工程で品質を作りこむという意識が参考になった。また、標準偏差を用い、品質状況を数字で判断する方法も参考になった。
- ・4Mの管理手法について、何通りかの実例を上げての説明が参考になった。
- ・4Mは常に変化し3Hの場合に不良が発生しやすい、工程管理、品質検証、品質改善のPDCAを回すこと、品質は上流の設計工程、生産準備工程で作り込むことが参考になった。
- ・色々なQC手法があることが参考になった。
- ・職場で不良品を出さないために何を注意すればよいか、また不良が発生してしまったらいつからどれくらいの数かを調べ、次工程に知らせるところがとても参考になった。